

(仮称)朝霞市子ども子育て支援事業計画の方向性

基本目標	基本方針	基礎調査からみる朝霞市の現状	朝霞市の課題
<p>基本目標 1 子育て支援サービスの充実</p>	<p>(1)働く女性の増加に伴う保育所の受入枠の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 25歳から30歳代の女性就業率の高まり(統計) ◇ 減少傾向にあるものの、無くなる見込みはない待機児童数(統計) ◇ 有効な子育て支援対策として、「保育サービスの充実」が57.0%で最多(未就学児アンケート) ◇ 企業内保育室を充実させれば、待機児童も減り、企業で働く人も遠くの園に預けなくて済むと思う(アンケート自由意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育需要の高まりによる保育所等の不足 ・ 保育所と家庭保育室の保育料の格差 参考 P2 ②幼児期の保育【保育所・認定こども園】2号 参考 P3 ③利用者支援に関する事業 参考 P3 ④時間外保育事業(延長保育事業)
	<p>(2)特に、女性が仕事に復帰しやすくなるよう、0～2歳枠の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 保育所(特に0～2歳)の利用増加(統計) ◇ 育児休業が希望の復帰時期と異なった理由として、「希望する保育所に入るため」、「希望する保育所に入れなかったため」が最多(未就学児アンケート) ◇ 0～2歳の受入枠の拡大(これから出産される方アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0から2歳の保育の受け入れ枠の不足 ・ 育児休業から復帰する際の保育所への入所 参考 P2 ②幼児期の保育【保育所・認定こども園】3号
<p>(3)放課後児童クラブの受入枠の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 放課後児童クラブ利用者数の増加(統計) ◇ 5歳児の、就学後の放課後児童クラブ利用意向(1～3年)は、37.4%(未就学児アンケート) ◇ 小学1～3年生の、高学年における放課後児童クラブ利用意向は、12.5%(小学生アンケート) ◇ 民間業者でも良いので、放課後預けられ、習い事の送迎もしてもらえると安心である(アンケート自由意見) ◇ 単発、長期休暇時に利用できる施設があると良い(アンケート自由意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育需要の高まりによる放課後児童クラブの不足 ・ 保育時間の延長 ・ 対象年齢の拡大 ・ 夏休み等の一時的な入所 参考 P4 ⑤放課後児童クラブ 参考 P4 ⑥子育て短期支援事業 	
<p>(4)一時預かりや病児保育など、不定期保育の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 周囲からあれば良いと思うサポートとして、「一時預かり」の記述が最多(未就学児アンケート) ◇ 仕事と子育ての両立で大変なことは「自分が病氣・けがをした時や子どもが急に病氣になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が55.9%で最多(未就学児アンケート) ◇ 近くに身内がいなかったため、病児保育を利用しやすくてほしい(アンケート自由意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時保育の受け入れ枠の不足 ・ 子どもが病氣の際に預けることができる施設の確保 参考 P6 ⑩一時預かり事業 参考 P6 ⑪病児・病後児保育事業 	
<p>(5)認定こども園の設置促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 今後利用したい教育・保育事業で、「幼稚園」55.5%、「保育所」が45.1%で突出しているが、「認定こども園」が19.3%と、利用状況に比べて利用意向が高い(未就学児アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市に認定こども園の設置がない中、需要が少なからずある 参考 P2 ②幼児期の学校教育【幼稚園・認定こども園】1号 参考 P2 ②幼児期の保育【保育所・認定こども園】2号 	
<p>(6)子どもが健やかに育つ幼児・学校教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 平日に教育・保育を利用したい目的として、「教育や発達のため」が57.9%(未就学児アンケート) ◇ 子どもの人付き合いを促す能力の低下(施設職員アンケート) ◇ 運動能力等の低下(施設職員アンケート) ◇ ツルタムで働きながら幼稚園を利用できる制度を充実させてほしい(アンケート自由意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園への保育機能の充実が求められている ・ 幼稚園の保育料が高い ・ 子供に対して教育や発達の機会を求める需要が高い 参考 P2 ②幼児期の学校教育【幼稚園・認定こども園】1号 	

基本目標	基本方針	基礎調査からみる朝霞市の現状	朝霞市の課題
基本目標② すべての子どもがすく すく子育て環境づくり	(7)地域の申の子ども居場所 づくり	基礎調査からみる朝霞市の現状 ◆児童館に対する要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」と「子どもの意見を反映させた遊び行事を行う」が約40%(小学生アンケート) ◆遊びに行きたい、使いたい場所として、身体を動かせる広い場所(こども木人クッキー)や通学する小学校の放課後児童クラブが職員だった場合に利用したい施設については、「近隣の児童館を放課後児童クラブとして利用したい」が43.3%で最多(未就学児アンケート) ◆中高生の居場所づくり(施設職員アンケート) ◆平日放課後の過ごし方は、中高生ともに「家でテレビをみたり、音楽をきいたり、パソコンを遊ぶなどして、一人で過ごす」「学校でクラブ活動をする」が上位2項目(青少年アンケート) ◆休日の過ごし方では、中学生は平日放課後の過ごし方と結果は同様となるが、高校生では2位が「買い物をする」(青少年アンケート) ◆三原地区の児童館の設置(アンケート自由意見) ◆本町・栄町地区の児童館の設置(アンケート自由意見) ◆園庭開放の日をもう少し増やしてほしい(アンケート自由意見) ◆公園のルールが定まりすぎて子どもが少ない印象(アンケート自由意見)	・児童館が少ない(小学校区に1か所を希望) ・児童館を、放課後児童クラブとして活用すること ・中高生が活動できる居場所づくり ・保育園での園庭開放が少ない ・公園の使用ルールが厳しい
基本目標③ 子どもを育てる親力の 向上	(8)障害児対応施設、職員の拡充 (9)ひとり親家庭への支援の充実 (10)親の家庭教育力の向上	◆育成保育の実施(施設職員アンケート) ◆障害児施設の拡充(施設職員アンケート) ◆障害児に理解のある職員が重要(施設利用者) ◆障害児の療育施設を増やしてほしい(アンケート自由意見) ◆ひとり親家庭の横ばいでの推移(統計) ◆母子家庭の場合、保育園の預かり時間や曜日、宿泊勤務の際に預かってくれる保育園がほしい(アンケート自由意見) ◆子育てに日常的に関わっている方・施設について、「父母ともに」が50%以上で最多だが、「母親」40%台、「父親」2%台と、一部の家庭では偏りがあることがうかがえる(未就学児・小学生児童アンケート) ◆親の責任能力の低下(施設職員アンケート) ◆子どもの言葉遣いの乱れ(施設職員アンケート) ◆外国人の保護者の集まり(アンケート自由意見)	・障害児に対する職員のスキルアップ ・障害児施設の不足 ・育成保育の更なる充実 ・ひとり親家庭に対する、手厚い保育(保育時間や曜日、さらには宿泊保育など) ・子どもの言葉遣いの乱れ ・子どもに対する、保護者の責任能力の低下 ・子どもとの接する時間が少ない
基本目標③ 子どもを育てる親力の 向上	(11)子育てボランティアの意識啓発	◆25歳から30歳代の女性就業率の高まり(統計、再掲) ◆母親の就業状況で、「現在は就労していない」が44.1%で半数近い。そのうち、約7割が就業意向がある(未就学児アンケート) ◆父親の帰宅時間は、「21時以降」が48.9%(未就学児アンケート) ◆仕事と子育ての両立で大変なことは「子どもと接する時間が少ない」が40.5%(未就学児アンケート) ◆母親の育児休業取得割合は31.0%、父親1.3%(未就学児アンケート) ◆父親が育児休業を取得しない理由は「職場に取りにくい雰囲気があった」と「仕事ができ	・外国人保護者のフォロー ・母親の就業意向が高い ・父親・母親ともに、育児休業や時短勤務制度を取得しづらい(会社の体制)

基本目標	基本方針	基礎調査からみる朝霞市の現状	朝霞市の課題
基本目標4 子育てにやさしいまちづくり	(12)親の子育てを支える環境づくり (13)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない体制の構築	<p>かつた」が4割以上(未就学児アンケート)</p> <p>◇時短勤務制度があっても、会社が子育て支援の意味がわかっていないため困る(アンケート自由意見)</p> <p>◇日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無で、「いずれもいない」が16.3%(未就学児アンケート)</p> <p>◇今後利用したい事業として、「子育て支援情報誌」62.5%、「家庭教育に関する学級講座」49.2%、「子育ての総合相談窓口」47.4%、「保健センターの情報・相談事業」46.2%で、情報と相談支援が多い(未就学児アンケート)</p> <p>◇子育て支援センターの増設(アンケート自由意見)</p> <p>◇妊娠中・出産後に重要なサポートは、「赤ちゃんの育児相談」が60.4%で最多、「子育て中の人同士の交流」が34.0%(これから出産される方アンケート)</p> <p>◇親子同士が交流し合える場として、児童館、子育て支援センター、なかよしはあくの活用(施設利用者調査)</p> <p>◇子育て支援センター施設の職員・施設の拡充(施設職員アンケート)</p> <p>◇市内に産婦人科が少ない(アンケート自由意見)</p> <p>◇小児救急の充実(アンケート自由意見)</p> <p>◇有効な子育て支援対策で「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が小学生児童で50.8%(小学生アンケート)</p> <p>◇有効な子育て支援対策で「子育てしやすい住居、まちの環境面の充実」が未就学児で55.1%、小学生児童で54.2%(未就学児アンケート、小学生アンケート)</p> <p>◇通学路の柵や外灯の設置(アンケート自由意見)</p> <p>◇教材の放射線物質の測定管理をしてほしい(アンケート自由意見)</p> <p>◇安全に配慮した道路の整備(施設職員アンケート)</p> <p>◇歩道が狭い所が多く、ベビーカーが歩きづらい(アンケート自由意見)</p> <p>◇朝霞台駅のバリアフリー化とエレベーターの設置(アンケート自由意見)</p>	<p>・子どもを見てもらえる親族や知人が近くにいない</p> <p>・妊娠中、出産後などの重要な時期の育児相談の充実</p> <p>・子育て中の母親の交流の場がほしい</p> <p>・子育て支援センターの施設・職員の充実</p> <p>・産婦人科や小児医療機関の不足</p> <p>参考P5 ⑦乳幼児家庭全戸訪問</p> <p>参考P5 ⑨地域子育て支援拠点事業</p> <p>参考P7 ⑩ファミリー・サポート・センター事業</p> <p>参考P7 ⑬妊婦健康診査</p> <p>・通学路におけるガードレールや外灯の設置</p> <p>・放射線物質の測定を引き続き実施</p> <p>・バリアフリー化</p> <p>・朝霞台駅のエレベーターの設置</p> <p>・歩道が狭いことで、ベビーカーで動きにくい</p>